

おたふくかぜワクチンについて

経緯

- 平成 22 年 7 月 国立感染症研究所により、おたふくかぜに関するファクトシートが作成された。
- 平成 23 年 1 月 第 4 回 予防接種部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン作業チーム報告書が報告された。
- 平成 24 年 5 月 予防接種制度の見直しについて（第二次提言）の中で、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの一つとされた。
- 平成 25 年 7 月 第 3 回予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会において、「仮に広く接種をするに当たっては、より高い安全性が期待できるワクチンの承認が前提であり、新たな MMR ワクチンの開発が望まれる。」とされた。
- 平成 25 年 10 月 第 5 回研究開発及び生産・流通部会において、「MR ワクチンを含む混合ワクチン」が開発優先度の高いワクチンの一つに定められた。
- 平成 25 年 12 月 日本ワクチン産業協会の会員企業に対し、MR ワクチンを含む混合ワクチンの開発要請を行った。
- 平成 28 年 7 月 第 12 回研究開発及び生産・流通部会において、MMR ワクチンなど開発優先度の高いワクチンに係るヒアリング状況が報告された。
- 平成 29 年 9 月 日本耳鼻咽喉科学会より、ムンプス難聴に関する全国調査の結果が公表された。
- 平成 29 年 12 月 第 20 回予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会において、耳鼻咽喉科学会の調査結果について報告した。
- 平成 30 年 5 月 予防接種推進専門協議会から、「おたふくかぜワクチンの定期接種化に関する要望書」が提出された。

今後の進め方

1. 本日の小委員会での議論も踏まえつつ、次回の本小委員会において、予防接種推進専門協議会、及び日本耳鼻咽喉科学会よりヒアリングを行うこととしてはどうか。
2. 現在 MMR ワクチンを開発しているメーカーに対し、事務局からヒアリングを行った上で、公表可能な情報の整理を行い、小委員会に報告することとしてはどうか。